

都幾川に生きる魚・両生・は虫類シンポジウム式次第

2019年2月7日

進行／渡辺仁・山本正史

受付・会場設営／千葉茂樹、山本実穂、澄川清治
パソコン・撮影／山本智紀

10時開始 主催者挨拶（渡辺仁比企の川づくり協議会代表）

10時5分齊藤裕也さん「都幾川に生きる魚」（藤岡市・ヤリタナゴ研究会会長）

10時50分藤田宏之さん「都幾川に生きる両生・は虫類」（埼玉県川の博物館学芸員）

11時20分鈴木勝行さん「荒川流域のアユの遡上調査」（NPO荒川流域ネットワーク代表理事）

11時40分山本悦男さん「もりんど夏の川遊び、生き物調査の結果」（もりんど代表）

12時00分から自由討論12時20分頃まで。

午後も会場は借りています。

都幾川に生きる 魚類

齊藤裕也

2019.2.07

国際婦人教育会館

2019.2.7 河川環境シンポジウム

都幾川に生きる
両生類・は虫類

埼玉県立川の博物館 藤田 宏之

湿地・小川も残されている

都幾川で川遊び in ときがわ町一川の生き物調査の記録

2019年2月7日

もりんど 山本悦男

1. はじめに

もりんどでは、毎年夏の定例活動として、一般参加者を募集した川遊びイベント「都幾川で川遊び in ときがわ町」を玉川小学校前(玉川橋上流)の都幾川で行っています。

イベントの前半では、参加者全員でガサガサ等による生き物探しを行い、採集した生き物を水槽に展示し、「都幾川水族館」として観察し記録しています。

今回は、その「都幾川水族館」の2005年～2018年の記録と2016年の宮ヶ谷戸前堰(玉川橋下流)魚道整備事業に伴う「魚の引越し大作戦」時の記録をまとめました。

ときがわ町の都幾川では、埼玉県の川の再生事業の一環で次の事業が行われました。

- ・2010年度～2011年度
水辺再生100プラン事業(玉川橋から雀川合流点+80m)
- ・2012年度～2015年度
川のまるごと再生事業(三波溪谷～嵐山町行政境)
- ・2012年度～2015年度
宮ヶ谷戸前堰魚道整備事業

2. 都幾川水辺再生事業について

3. 都幾川で川遊び in ときがわ町について

4. 都幾川の生き物調査結果